

イワガキ種苗生産技術開発試験

企画・栽培養殖部 主任研究員 高杉 朋孝

目的

カキ類の中でも高水温に強く、鹿児島県の新たな養殖対象種として有望なイワガキの種苗生産を行い、養殖業の多角化、地域特産品の作出により地域活性化と漁業者の所得向上を図る。

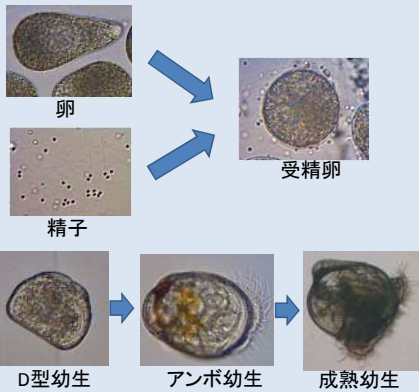


種苗生産の概要

浮遊幼生飼育



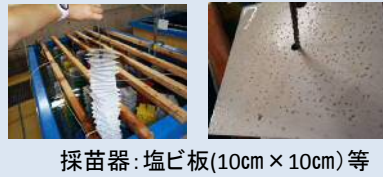
1000Lポリカーボネイト水槽



採苗



1800L FRP水槽



採苗器: 塩ビ板(10cm×10cm)等

陸上飼育期の餌料培養



微細藻類 (*Chaetoseros neogracile* 他)

沖出し・中間育成



海面生け簀



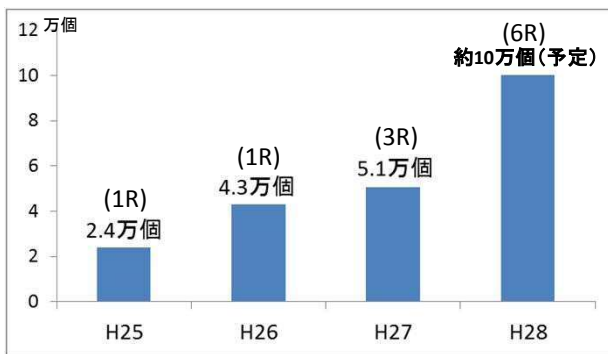
10mmで剥離



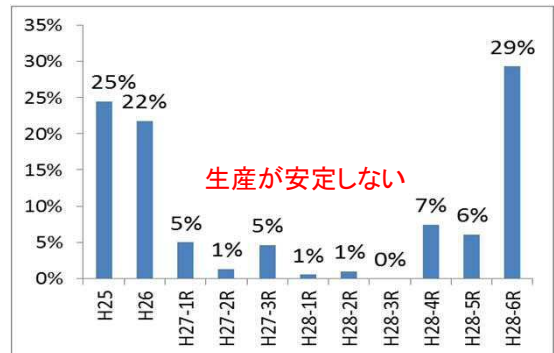
30mmまで中間育成

結果及び課題

結果



これまでの生産数の推移



浮遊幼生飼育期の生残率

課題

- 浮遊幼生飼育期の生産の安定化と生残率向上 (これまでの結果: 生残率0%~29%)
- 採苗期の着底の安定化と着底率の向上 (これまでの結果: 着底率1.2%~45%)
- 省コスト, 省力化 (餌料の大量培養技術の確立, 出荷サイズまでの陸上飼育技術の確立)